

# 長野県林業大学のグレードアップ

森林・林業に係る新たな人材育成が急務であるため、2年制の専修学校である長野県林業大学のグレードアップを図る。

## 1 本年度の検討状況

### ◇ 平成29年6月～12月

- ・長野県林業大学グレードアップ推進会議を5回開催

[座長] 植木 達人：信大教授  
[委員] 相川 高信：(公財)自然エネルギー財団 上級研究員  
青木 健太郎：国連機関職員  
江田 慧子：帝京科学大学 専任講師  
浜田 久美子：作家  
原 久仁男：木曾町長 (敬称略)

### ◇ 平成29年12月

- ・知事と委員との懇談

### ◇ 平成30年3月

- ・教育理念・教育目標等をまとめた中間報告書を公表

## 2 グレードアップの必要性

- 新たな総合5か年計画への対応
  - ・収益性と創造性の高い農林業の推進  
実践的で多様な知識を備えた、地域に貢献できる人材の育成
  - ・日本をリードする人材育成拠点の形成  
→ フォレストバレーの中核としての役割を發揮
- 「新たな森林管理システム」(平成31年度から)を担う人材の育成
  - ・財源となる**森林環境税(仮称)**に先行し、**平成31年度から森林環境譲与税(仮称)**を譲与予定
- 少子化の進展と、**競合する林業教育機関の急増**  
(最近6年で12校、全国で長野県を含め累計19校)
- 専門職大学等新たな高等教育機関制度の創設(平成31年度から)
- 高等教育機関としての魅力向上による若者の県内への定着



しあわせ信州

## 3 会議等の方向性

### ◇ 平成30年4月～

- ・全体計画の検討
- ・関連機関との連携の検討

### ◇ 平成30年学校体制決定後

- ・カリキュラム・教員体制 等検討

#### 森林環境税(仮称)平成36年度から課税

地球温暖化防止や災害防止など公益的機能を有する森林の適切な管理を推進するため、市町村が実施する森林整備等の財源に充てる国税

#### 森林環境譲与税(仮称)平成31年度から譲与

森林環境税(仮称)の収入額に相当する額を、市町村及び都道府県に対して譲与(初年度は市町村：県＝8：2)。平成31年度から平成35年度までの間は、譲与税特別会計からの借入金で対応

## 4 中間報告書の教育理念・教育目標・教育の柱

### 教育理念

本学は、信州の美しく豊かな山岳・森林資源を、自然の営みと伝統文化を尊重し、農山村社会における複合的価値として磨き上げるための森林・林業の教育・研究拠点です。

林業が世代をつないだ豊かな地域社会づくりに貢献できるよう、専門知識と技能・技術を身につけた人材を育成します。

また、いつでも誰でも、森林・林業の「学び」を継続できる生涯教育を展開します。

### 教育目標

- ① 森林の多様な価値を創造することで地域課題の解決に寄与できる人材
- ② 変化の激しい時代を生き抜く林業専門職としての社会的資質を備えた人材
- ③ 科学と安全性を重視し、高い倫理観を持って組織と社会に貢献する人材

### 教育の柱

- ① 生態的・経済的・社会文化的側面に配慮した持続可能な農山村社会の構築を目指す力の養成
- ② 急速に変化する社会・技術に適応する専門職のための生涯教育
- ③ 組織や実社会で自律的に振舞うことができるための全人教育
- ④ 科学と技術に裏付けされた実践と対話を重視する双方向教育
- ⑤ 危険を回避できる適切な判断力と安全管理及び職業倫理の醸成